

編集発行責任者 飯田 誠

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

## INDEX

01. 院長就任のご挨拶
02. 副院長就任のご挨拶、皮膚科診療部長就任のご挨拶
03. 耳鼻咽喉・頭頸部外科診療部長就任のご挨拶、心臓外科の診察
04. B型肝炎ウイルス再活性化防止への取り組み

## 院長就任のご挨拶

令

和4年4月より院長に就任いたしました耳鼻咽喉・頭頸部外科の飯田 誠と申します。葛飾医療センターは、平成24年1月に「東京慈恵会医科大学葛飾医療センター」としてリニューアルオープンし今年で11年目になります。前身となる「東京慈恵会医科大学附属中川堤療養所」の開院以来、葛飾区を中心とした区東北部医療圏の中核を担ってまいりました。また地域の災害拠点病院でもあります。患者さんの多くが葛飾区および近隣から来院される典型的な地域密着型の病院です。

いまだ新型コロナウイルス感染症の影響を残す中、大学病院として感染症治療と一般・救急医療との両立を目指し運営しております。また今後、国策としての医療制度改革や医師の働き方改革、ウィズコロナ、ポストコロナ、さらにはAIの導入など様々な変化が予想され、患者さんのニーズも変化していくものと思われまます。その様々な変化と患者さんニーズに対応すべく、病院運営を行ってまいります。

今後も葛飾医療センターのビジョンである「総合診療体制・救急医療体制を強化し、同時に医療者への全人的かつ総合的な教育を提供する地域密着型の大学病院」を大切に、教職員一人ひとりの力を信じ、当院の強みであるチーム力を発揮しながら、「地域と共生し進化・創造し続ける病院」を目指します。そして保有する医療資源を最大限活用しつつ、周辺医療機関と連携し、引き続きより安全で地域のニーズに応える専門性と質の高い医療を提供してまいります。

皆様のご支援とご協力お願い申し上げます。



飯田 誠 院長

## 副院長就任のご挨拶

2022年4月より副院長を拝命しました泌尿器科の山田裕紀です。日頃より当センターとの医療連携に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。2020年4月以降、当センターでは2年間で計695名の新型コロナウイルス感染症患者の入院治療に従事してまいりました。「Team COVID-19葛飾」を中心に病院スタッフが一丸となって取り組んだ成果です。翻って2025年問題を目前に、環境変化と多様化する医療ニーズに柔軟に対応することが求められております。患者さんが病状に応じた適切な医療を迅速に受けられるように、関係各所が連携し円滑な紹介(FAX/Web)予約、逆紹介の推進、適切な退院支援による在院日数の短縮を実践しております。また、当センターでは「二人主治医制」や「後払いクレジットサービス」を導入し、地域医療連携の推進と患者サービスのより一層の向上を図って行きたいと考えております。お気づきの点がございましたら、対応させていただきたいと思っておりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。皆様のご理解、ご協力を賜りながら、地域密着型の中核病院の役割を果たすべく引き続き医療連携を深め『求められる魅力のある病院』を目指していく所存です。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



泌尿器科  
山田裕紀 副院長

**慈恵医大葛飾医療センターは  
2人主治医制を進めています**

～地域のかかりつけ医と慈恵医大葛飾医療センターの医師があなたの主治医です～

「2人主治医制」とは、患者さんを中心として、地域のかかりつけ医と当院の医師が互いに連携し、共同で継続的に治療を行うことです。

**かかりつけ医** (主診/情報提供) → **葛飾医療センター** (副診/情報提供)

かかりつけ医の役割: 初期治療、日頃の健康管理、慢性疾患の継続治療、緊急時の対応、経過観察、予防医療

葛飾医療センターの役割: 高度かつ専門的な検査・治療、入院を要する治療・検査・手術、病状が変化した時の治療

◎患者さんがお住まいの地域のかかりつけ医と葛飾医療センターの医師が2人で主治医となります。2人の主治医が紹介状(診療情報提供書)等で患者さんの病状や治療経過などの情報を共有します。

◎紹介状の到着が待ち時間から、再び地域のかかりつけ医や医療機関で治療を継続します。

◎緊急時や詳しい検査などが必要となった場合は、速やかにかかりつけ医から葛飾医療センターに紹介いたします。

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 下谷ビル 03-3603-2111 (代診) 内線: 2145  
 入院科・産婦人科センター 新大谷ビル 03-3603-2474  
 受付時間 月曜～土曜 午前8時～午後5時(休日、休診日除く)  
 休診日 日曜日、祝祭日、年末年始(12/29～1/3)、  
 大学記念祭(5/1・10月第2土曜)

慈恵医大葛飾医療センター  
「後払いクレジットサービス」のご案内

**会計の待ち時間をゼロに!**

**待たずにラクだ。**

診察が終わったから少しでも早く帰りたい…  
「待たずにラクだ」は、医療費を後払いにすることで、会計を待たずにすくお帰りのためのサービスです。

登録  
ラクだ。

通院  
ラクだ。

支払い  
ラクだ。

本サービスのご利用には事前登録(無料)が必要です。  
 診察前のご登録で、本日の会計からご利用いただけます。  
[http://www.jho.ac.jp/hospital/katsushika/deferred\\_payment.html](http://www.jho.ac.jp/hospital/katsushika/deferred_payment.html)

## 皮膚科診療部長就任のご挨拶

### ●皮膚科



皮膚科  
川瀬正昭 診療部長

2022年4月1日より伊藤寿啓診療部長の後任として当病院皮膚科診療部長として着任しました川瀬正昭です。平成2年に慈恵医大卒業後、慈恵医大附属病院、第三病院勤務以外にも国立大蔵病院、国立成育医療センター、東京通信病院、自治医大さいたま医療センター、千葉愛友会記念病院に勤務し、今回初めて葛飾医療センター勤務となります。専門は疣贅(ヒト乳頭腫ウイルス感染症)です。現在皮膚科には、私を含め8名が在籍しております。

皮膚に症状がみられるすべての疾患を対象としています。診察にあたっては、視診による臨床診断をもとに、必要に応じて血液検査、細菌・真菌培養、皮膚生検による病理組織学的検査を併せて行うことで、確定診断を行います。その結果をもとに、症状、背景により外用療法、内服療法、紫外線療法、手術療法を選択し治療にあたっています。各々の疾患の治療は学会で出されているガイドラインに従ってすすめていきます。

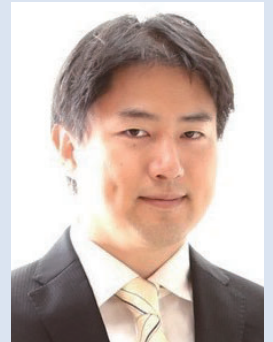
当科は保険診療を対象としており、自由診療は行っておりません。赤あざ、茶あざのレーザー照射機器、全身紫外線照射装置はありません。また、他院で行った美容診療(美容形成手術、レーザー、ピアスなど)やエステなどの美容処置にともなう皮膚症状に対する診療は行っておりません。

地域の医療機関や必要に応じて他科や他病院と連携を行いながら診療を行っていきます。どうぞ宜しくお願い致します。

# 耳鼻咽喉・頭頸部外科診療部長就任のご挨拶

## ●耳鼻咽喉・頭頸部外科

2022年4月より葛飾医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科診療部長に就任いたしました原山幸久（はらやまゆきひさ）と申します。飯田誠前診療部長が当院の院長に就任したことに伴い、私が診療部長となりました。2019年より当院に配属され勤務しておりますので、診療体制などは従来通り引き継がせて頂いており、大きな変更はございません。飯田誠前診療部長は院長業務のため、臨床でのかわりは減っておりますが診療医長として引き続き在籍しております。私は慈恵医大附属の4病院での勤務だけでなく、地域の基幹病院でもある国保旭中央病院での勤務や、JA佐久医療センターで耳鼻咽喉科の責任者をした経験もございます。慈恵医大本院ではサブスペシャリティとして頭頸部外科を専門に対応しておりましたが、今後は専門に関わらず耳鼻咽喉・頭頸部外科全般の対応をまいりますので御紹介・御相談いただければ幸いです。当科の得意分野として一般耳鼻咽喉科分野、鼻副鼻腔疾患そして頭頸部腫瘍があげられると思います。入院治療に関しては引き続き、病院として受け入れ困難な状況でない限り対応させていただくよう心がけて参ります。当施設で対応困難な疾患ももちろんありますが、慈恵医大本院や他病院との連携をしっかりと行って参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



耳鼻咽喉・頭頸部外科  
原山幸久 診療部長

## 慈恵大学 葛飾医療センターでも 心臓外科の診察が可能です

### 慈恵大学 本院 心臓外科 國原主任教授の外来を開設しています

#### ●診察可能な疾患

心臓弁膜症、冠動脈疾患、大動脈疾患、不整脈

#### ●慈恵医大 心臓外科の特色

- ・AR に対する大動脈弁形成術
- ・MR に対する完全内視鏡下低侵襲手術 (MICS)
- ・AS に対するカテーテル治療 (TAVI)
- ・多科にわたる併存疾患を抱えた方の手術

●術前検査や術後外来は、全て葛飾医療センターで対応可能です。

●洗練されたハートチームとともに、患者様ひとりひとりに合った最適な治療法を提案します。

毎月第4木曜日(午後)循環器内科外来  
FAX予約のみ受付



心臓外科HP

#### ●東京慈恵会医科大学 心臓外科 主任教授 國原 孝

1991年北海道大学卒、ドイツ・ザールランド大学病院 胸部心臓血管外科に9年間勤務

心臓血管外科専門医、日本胸部外科学会指導医、ドイツ医師免許、ドイツ心臓外科専門医、ドイツ准教授



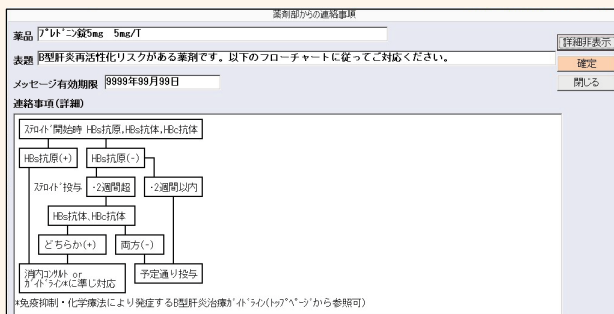
【FAX予約に関するお問い合わせ】 TEL03-3603-2111 (代表) 医療連携室

# B型肝炎ウイルス再活性化防止への取り組み

葛飾医療センターで取り組んでいるB型肝炎ウイルス(以下、HBV)再活性化防止対策を紹介させていただきます。HBV再活性化とは、「HBV感染患者において免疫抑制・化学療法によりHBVが再増殖すること」と日本肝臓学会編「B型肝炎治療ガイドライン」で定義されております。HBV再活性化による肝炎の特徴は、劇症化・死亡率が高いことです。当院では、日本肝臓学会による「免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン」、日本耳鼻咽喉科学会による「突発性難聴、顔面神経麻痺等のステロイド治療におけるB型肝炎ウイルス再活性化防止に関する指針」の公表を受け、B型肝炎スクリーニングの運用を開始いたしました。

## 取り組みの紹介

●再活性化リスク薬剤のオーダー時に、注意喚起を目的としたスクリーニング検査を求めるポップアップ表示



●薬剤師によるスクリーニング検査実施状況の確認・提案  
HBs抗原、HBs抗体、HBc抗体の検査歴を確認し、不足している検査項目を処方された医師へ提案しています。調剤時に検査が実施済みかどうか処方箋上でわかるように薬剤師が部門システムでコメント入力

＜ オーダー内容 ＞			＜ 調剤内容 ＞		
Rp	薬品名/用法	1日量/日数	薬袋	薬品名/用法	1日量/日数
	コトリン錠10mg 10mg/T	1錠	口	コトリン錠10mg 10mg/T	1錠
	【B型肝炎確認】			【B型肝炎確認】	
	1回1錠 (1日1錠)			1回1錠 (1日1錠)	
	1日1回 朝食後	1日分		1日1回 朝食後	1日分
	2021/09/21(火) 朝			2021/09/21(火) 朝	
	【患者コメント】			【患者コメント】	
	2021/ 9/21			★B型肝炎:抗原陰性、抗体陰性	

●HBV再活性化防止の取り組みに関する医師への情報提供

▶ 電子カルテトップページにガイドラインを掲載

現在公表されている日本肝臓学会のガイドライン、日本耳鼻咽喉科学会による指針を掲載し、いつでもガイドラインが閲覧できるようにしています。

▶ 当院採用の再活性化リスク薬剤を電子医薬品情報室(MDview)に掲載

再活性化リスク薬剤の一例をご紹介します(添付文書上 HBV再活性化について注意喚起のある薬剤)

薬効分類	一般名
免疫抑制薬	シクロスポリン(ネオオラル®)、タクロリムス水和物(プログラフ®)など
副腎皮質ステロイド薬	デキサメタゾン(デカドロン®)、プレドニゾロン(プレドニン®)など
抗腫瘍薬	テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム(ティーエスワン®)など
抗リウマチ薬	メトトレキサート(リウマトレックス®)など
抗ウイルス剤	レジパスビル/ソホスブビル(ハーボニー®)、ソホスブビル(ソバルディ®)など

薬剤師の介入をはじめとする様々な院内の取り組みによって、ステロイド治療を対象としたHBV再活性化に対する意識は病院全体として高まってきました。スクリーニング検査対象患者さんにおいて、今後も医師に対する薬剤師からの提案も継続的に行いながら病院全体で安全管理の意識を高く持つていく必要があると考えております。

葛飾医療センター薬剤部は、適切な薬物療法の実施を通して、より良い医療に貢献すべく、日々精進してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

●外来がん治療認定薬剤師 高橋 真一